

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 4590100782 | | |
| 法人名 | 株式会社 ソフトタウン | | |
| 事業所名 | グループホーム ソフトタウン神宮東 | | |
| 所在地 | 宮崎市神宮東2丁目12番5号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年9月30日 | 評価結果市町村受理日 | 平成27年12月2日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <p>* 利用者が主体となり、穏やかでゆったりとした生活を送って頂けるよう努力しています。</p> <p>* 必要以上の支援は行わず、「本人の出来る事」を見極め、自分でして頂けるような支援を心掛けています。</p> |
|---|

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成27年10月20日 | | |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| <p>ホームは神宮外苑に近く、周囲は住宅地である。管理者と職員は「誠心誠意のおもてなし」「もうひとつの我が家」「居心地の良さ」と、利用者一人ひとりが尊厳を保ちながら暮らしていけるように理念を作り上げている。誕生日等の行事に、いなり寿司を握ってもらったり、ケーキ作りの泡立てなど、利用者の昔取った杵柄を引き出しながら喜怒哀楽を共にしている。また、地域との交流に努め、子育て支援に協力してホームの一室を提供し、乳幼児や母親と利用者との触れ合いの場になっている。更に、重度化や看取りの指針を作り、職員の研修を行い、利用者や家族の要望に応えられる体制を整えている。</p> |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念の「有する能力を見極め、発揮する機会と活躍する場の提供」を念頭に置き、全体会議や職員間で共有し、実践できるようにしている。 | 「誠心誠意のおもてなし、もう一つの我が家、居心地の良さ」を理念に掲げて、ミーティングや会議の中で共有し、実践につなげている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地区の自治会に入り、回覧等で地域の情報を得ている。地域での子育て支援の場を提供し、乳幼児や母親との交流が図れるようにしている。 | 住宅地の中にあるホームは、地区の自治会に加入し、隣同士、花や野菜をもらうなど日々交流している。地域の子育て支援のグループに部屋の提供を行い、母親や乳幼児と利用者との交流を図っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 現時点では、地域に発信できるような勉強会などは実施できていないが、運営推進会議にて、地区の代表として来設して頂き、区長や民生委員を通じて情報を発信して頂いている。また、子育て支援に参加して頂き、地域での理解を得られるようにしている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2～3か月に1回開催し、その中での意見や要望に関しては、サービス向上に活かせるようにしています。 | 地域の有識者、家族の代表、ホームの職員が参加して定期的に開催している。地区の行事や祭りの情報を得てサービスの向上に努めているが、メンバーの欠席者が多い。 | 事前に文書を配布するなど、できるだけ参加してもらえるような工夫を期待したい。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 事業を行う上での相談や報告等、適宜、電話をする等連絡をしている。また、子育て支援の実施日には、行政の方も見学にみえたりしている。 | 担当課と電話や窓口にて、運営上の相談をしている。担当課が行う研修に積極的に参加している。子育て支援実施日は、行政担当者の見学も行っている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 拘束はしていない。落ち着きがなく動かれている時は、職員と一緒に寄り添う等、安心して頂けるようにしている。 | 外部や内部研修を行い、スピーチロックや身体拘束の弊害を理解しているが、玄関の施錠がなされている。インターホンのボタンを外来者が鳴らすと自動的に開錠できるようになっている。 | 身体拘束の弊害について再度見直すことを期待したい。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 職員それぞれが、虐待防止の知識を持ちながらケアを行っているが、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持つまでには至っていない。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 言葉では簡単に説明をしたが、現時点では、学ぶ機会を持っていない。今後、必要性を考慮し、勉強する機会を持ちたい。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約締結時には、十分に事業内容等を説明している。解約時も、今後についての不安が無いように、分かり易く説明を行っている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご利用者、ご家族から不満や苦情がある時は、ゆっくりと話を聞き、納得のいくように話をしている。意見箱の設置は、今の所、活用されていない。 | 家族の意見は十分聞けるよう、日ごろからコミュニケーションを図り、なんでも話してもらえよう、関係作りに努めている。出された意見について速やかに職員で話し合いを持ち、対応している。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月1回の定期会議を実施、気付きや改善点等の意見交換を実施。また、状態によっては、より良い意見を反映させる為、定例会議以外でも意見を出して頂き、運営に反映できるようにしている。 | ミーティングや職員会議の中で出された職員の意見について、改善できるように努めている。管理者のレベルで判断が難しい問題の時は経営者に相談し、運営に反映させている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 正規職員採用が90%であり、休憩時間も90分とし、働き易い環境にしている。また、就業時間外の全体会議等に関しては、手当てを付与する等、柔軟に対応している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 年に数回は順番に勉強会に参加出来るようにしているが、人員確保困難時は、現状として実現できていないことが多い。今後は、全員が研修に参加出来るように努めたい。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 勉強会に参加、また、他施設への訪問や招待等で情報交換を行い、交流を図っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所前に施設の見学に来て頂いたり、困った事や不安、要望があれば、ご利用者様の話を傾聴し、スタッフ間で話し合い、安心して頂けるように努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様に施設見学をして頂き、居室の配置やお食事の様子、入浴時の対応など、生活全般の具体的な事柄を説明。ご本人やご家族様の要望に対し、誠心誠意耳を傾け、安心してご利用して頂けるよう、信頼関係の構築に努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 事前にご本人、ご家族様と話し合い、プランを作成。また、ご本人の変化に応じて、適切な支援に努めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご本人一人ひとりに合わせたレクリエーションを実施。日常生活の中でご本人に合わせた作業をスタッフと一緒にする事で、信頼関係作りにも努めています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 日頃から気軽に会話ができるよう、職員からの声かけを心掛けている。遠方にご家族様に、電話やお手紙等での連絡をお願いしています。行事の時は協力をお願いし、ご本人の状態を把握しながら交流ができるように努めています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの場所への散歩やドライブ等で、馴染みの人や場の関係維持、また、古い写真などを見ながら会話をし、回想に努めている。 | 友人の来訪やなじみの医療機関、理髪店や美容室などの関係が途切れないように支援している。墓参りに出掛けたり、子供、兄弟の家などを家族と一緒に訪問して回想に努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者間の個々の関係を念頭に置き、楽しく会話ができるように、雰囲気作りに努めたり、レクリエーションを通じてご利用者間の親睦を深め、お互いに孤立しないよう支援に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ご家族からの相談や困りごとがあれば、いつでも支援できるよう努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の行動、言動、表情を観察し、その中でご本人の思いや希望を把握し、家庭の延長で生活できるように努めています。 | 利用者の日々の行動や言動から、思いや意向をくみ取り、家族と相談しながら意向に応えられるように支援に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所時や日々の介護の中で、個々の性格や生活歴等を把握し、ご利用者様のありのままを受け入れ尊重するよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日健康チェックを行い、心身状態を観察しながら、コミュニケーションを図り、楽しく過ごせるように努めています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご利用者、ご家族の意向を取り入れ、毎月スタッフ会議を行い、ご利用者の方が楽しく暮らせるように支援しています。 | 利用者本位の介護計画は家族の意向も取り入れながら関係者で話し合い、楽しく暮らせるようにアイデアを生かして作成している。モニタリングは1か月に1回行っている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別記録に記入し、スタッフ会議で情報を共有し、質の向上に努めています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 季節毎のレクリエーションで外出をしたり、ご利用者、ご家族の意見や要望をくみ取り、サービスの向上に努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|--------------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 定期的に施設の一角を利用し、地域での子育てサロンの場の提供を行い、乳幼児とその母親との交流が図れるようにしています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 基本的には、ご家族と一緒に入所前からの通いなれた主治医との関係を継続し、受診して頂いている。家族が遠方にいる場合は、職員が同行しています。歯科に関しては、必要に応じて、往診依頼を行っています。 | 今までのかかりつけ医との関係を大切に、基本的に家族と一緒に受診している。日々の生活ぶりについて情報を提供し、適切な医療が受けられるように支援している。訪問歯科診療を受ける体制も整えている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 状態変化等の場合は、相談、助言を受けている。日頃より、職員同士の気づきや情報は、申し送りノート等を活用し、全員が情報を共有して統一ケアに努めている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入・退院に関しては、管理者に一任している。入院先の相談員や家族との連絡を密にし、早期に退院できるように努めている。ご利用者の退院に関しては、職員全員が状態把握が出来る体制に努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化等の場合は、あらかじめご家族や主治医と十分話し合い、ご本人にとって最優先すべきは何かを検討し、備えている。 | 利用開始の早い段階で、利用者、家族、主治医と十分話し合いながら、方針を関係者で共有している。看取り指針を作成している。また、職員の研修も行っている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | AEDの備え、緊急時に職員が全員使えるよう訓練を行っている。使用回数はゼロ。また、対応マニュアルを作成、指定場所に置き、速やかに対応できるようにしています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の避難訓練、災害時の連絡手段として、緊急通報訓練を行い、備えています。 | 市消防の協力で、防災、避難訓練を実施している。11月に夜間想定を含む防災避難訓練を予定している。地元の消防団にも協力依頼をする方向で動いている。家族の協力はあるが、近隣住民の参加協力を依頼していない。 | 近隣住民に参加を呼び掛けて、住民参加型の避難訓練を行うことを期待したい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 理念の下、人格を尊重し、尊敬の念を持って接するよう努めています。 | 利用者の人格を尊重して、誇りやプライバシーを損ねない優しい対応をしている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 常にコミュニケーションを図り、飲み物等はメニューを見て決めて頂く等、選択、自己決定が出来るように努めています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご利用者のペースに合わせて支援を行っているが、十分に汲み取れない時もある。トイレの訴えが無いご利用者には、時間を見て声を掛け、介助を行っている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 更衣時、好みを伺い、ご利用者と一緒に準備をしています。理・美容に関しては、ご本人の希望があれば一緒に外出し、施設が依頼した理・美容師に来て頂き、散髪等の支援を行っています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 出来るだけ旬の食材を取り入れ、行事の際は行事食の提供を行い、季節感を楽しんで頂くように努めています。 | 職員は、利用者の持てる機能を引き出しながら食材の下ごしらえや後片付けを手伝ってもらっている。誕生日のお祝い膳に、利用者の昔取った杵柄を生かしたいなり寿司をそえるなどの工夫をしている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | ご利用者に応じた食事量、水分摂取が出来るよう心がけています。また、水分摂取量が少ない方は、ゼリー等を摂取して頂き、補っています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを行い、不十分なところは歯科医師の指導の下、職員が支援しています。夜間は、歯ブラシ、コップ、義歯の消毒を行っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | ご自分から訴えが出来ない方については、それぞれに排泄記録を取り、ご利用者の意思を尊重しながら、時間を見て声掛け・誘導を行い、個々に合わせたケアを行っています。また、夜間のみポータブルトイレを設置する等、本人の能力に合わせて支援が出来るよう努めています。 | 排せつチェック表を活用し、昼間はトイレで排せつできるように声掛けをしながら誘導している。身体の状態に合わせて、夜間のみポータブルトイレの対応もしている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排便記録の下、ご利用者のパターンに合わせて内服の調整を行い、場合によっては腹部のマッサージ、運動の声掛けを行っています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | バイタルチェックやその日の体調、ご希望を加味しながら、無理強いせず、ゆっくりと本人のペースに合わせて楽しんで入浴が出来るよう支援しています。 | 利用者の体調を見ながら、楽しく入浴ができるよう、また、無理強いしないように利用者本位に個々に沿った支援をしている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | バイタルチェックやその日の体調を見ながら、特変が無いかを確認。不眠を訴える方については、家族、主治医と相談し、内服の調整を行ったりしている。基本としては、ご本人の希望に沿って、昼夜を問わず休んで頂くようにしています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ご利用者の薬剤情報をまとめたファイルを事務所の書庫に設置し、すぐに確認が出来るようにしている。セット時は必ず2人で確認を行い、与薬時は本人の前で読み上げて確認を行い、誤薬防止に努めています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | それぞれの得意とする分野を活かせるように声掛けを行い、ご自身の出来る範囲内で自発的に行って頂けるよう支援しています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 散髪や散歩、ドライブ等に出掛け、気分転換を図ってはいるが、意思表示が出来ない方等に対しては、必ずしも満足を得ている状態とは言えない。遠足やドライブ、行事等を計画し、地域やご家族との親交を深めるように努めます。 | 日常の外出は近くの神宮外苑に藤や桜の花見に、また、散髪をかねて外出ができるように努めている。遠足やドライブは計画的に家族の協力も得ながら行っている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 個々の能力にもよるが、外出時買い物をする時は、施設より仮払いとし、本人に支払って頂き、家族に請求を行っている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | コードレス電話を使用、職員見守りの下、ご利用者の希望時やご家族から電話があった時に、会話が出来るよう支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 現在のところ、エアコンでの温度管理を実施、加湿器による湿度管理を行っている。季節にもよるが、天窓を使つての温度管理も行っている。ご利用者の描いた絵を玄関に飾るなどの工夫も行っている。 | 共用の空間は掃除が行き届き、清潔に保たれている。天窓を使つての採光や温度、湿度管理もしている。テレビやソファが置かれ、利用者や家族が訪れてもくつろげるように配慮している。ソリューションウォーターを設置し、感染症対策も行っている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 各居室は空調整備が整い、24時間換気も実施。ホールにはソファを設置、また、畳の間を設け、ゆっくり過ごして頂けるように心掛けています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご利用者様が慣れ親しんだ品物を持参して頂き、居心地良く過ごして頂けるように心がけています。また、気に入っている写真等を飾って頂く等の工夫をしています。 | 利用者の使い慣れた家具や調度品、家族の集合写真などを飾り、居心地よく過ごせるように工夫をしている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 歩行補助の為、手摺の設置や床面はバリアフリーになっている。また、トイレ等の表記も目立つように袖付けにしてある。天井も高く開放的で、全体的に明るく、視覚的にも分かり易い環境となっている。 | | |